



こんにちは、令和4年度GIGAスクールサポーターです。

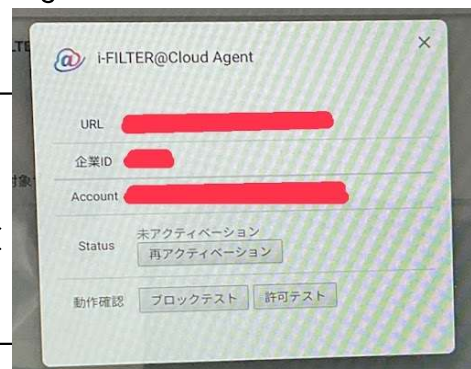
令和4年度のGIGAスクールサポーターが活動を開始して約1か月が経ちました。私たちGIGAスクールサポーターは、先生方からいただくリクエストを通して、多くのことを学ばせていただいています。

さて、GIGAスクールサポーターだより第4号では、これまでに起こったトラブルと、その対応方法について紹介します。chromebookやGoogleアプリを授業で活用するときに参考にしていただければ幸いです。

その1「何かが表示されて何もできなくなった！」

小学校、中学校のいくつかのchromebookで、右のような画面が表示されました。

このような画面が表示された場合、まずは、右上のXを押してください。その後、各学校のICT担当の先生を通して、業者に連絡してください。



その2「せっかく作成したのに、、、」

Googleアプリの特徴の1つに、「オンラインで自動保存される」という機能があります。しかし、インターネット接続がなかったり不安定だったりすると、保存されないことがあります。Jamboardを活用したある授業では、生徒が作成したものが残らず、復元もできなかったということがありました。

児童生徒が作成したものが消えてしまうのはとても残念ですし、授業にも影響します。インターネットの接続が悪いときなどは、万が一に備えて、PDFにして保存したり、スクリーンショットを撮っておいたりすると安心だと思います。

その3「せっかく回答したのに、、、」

その2と似ている事例です。Google Formsを使ってある教科の生徒の実態を調査する場面がありました。生徒は一生懸命回答し、時間が余ったため見直しをしていました。ところが、終了数分前に、ある生徒の回答が全て消えてしまいました。それは、ブラウザの戻る矢印を押して戻ってしまっていたからでした。

回答前に、「見直しをするときは、Formsの「戻る」を押して前のセクションに戻る」ことを児童生徒と確認する必要があると感じました。

何かの申し込みをインターネットでする場合でも、「ブラウザの「戻る」ボタンを使用しないでください。回答が保存されません。」というように表示されることがあります。児童生徒にとって、大切な学びになるのではないかと思います。

以上3つの事例を紹介させていただきました。「今すぐ使える! Google for Education 授業・校務で使える活用のコツと実践ガイド」という本のp.20に、

ICTは、「いつも・ちょっと・トラブル」の略。

と書いてありました。(本当は、Information and Communication Technologyです。) ICTの活用には、トラブルが付き物ですね。しかし、そういう時こそ、私たちGIGAスクールサポーターに声をかけてください。先生方、児童生徒のみなさんの役に立てるように精一杯頑張ります。今後どうぞよろしくお願いいたします。